



# 2024年6月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社クオルテック【証券コード：9165】



# 01

第2四半期売上高は全社で前年同期比+5.9%増収の1,721百万円。信頼性評価事業の受注状況は順調に推移し、特に高付加価値検査及び断面研磨が好調も、パワーサイクル試験の開発機種が端境期となり前年同期比+8.1%増収。微細加工事業は前年4Qを底に既存顧客の受注が回復基調にあるも、前年同期比△6.2%減収。その他事業はバイオ遺伝子検査需要の減衰、競合企業の参入による価格競争激化により受注が減少し、前期同期比△11.4%減収となる。

# 02

第2四半期段階利益の前年同期比は、信頼性評価事業の増収効果により、体制強化等による販売管理費増等を挽回し、営業利益は+19.0%増益の170百万円。経常利益は上場関連費用14百万円を計上し、+9.2%増益の155百万円。四半期純利益は適用法人税率変更等の影響で+2.1%増益の113百万円となる。

# 03

通期業績予想は2月7日開示のとおり、当初業績予想から減収減益に下方修正。信頼性評価事業、微細加工事業、その他事業ともに未達要因が顕在化し、売上高は当初予想比△10.0%の減収。営業利益は当初予想比△41.8%の減益を見込む。配当は昨年8月10日当初業績予想公表値を据え置き。

目次

- 1 | 第2四半期 決算概要
- 2 | セグメント別売上高
- 3 | 営業利益増減内容
- 4 | 四半期売上高推移
- 5 | その他経営数値
- 6 | 通期業績予想
- 7 | 配当予想
- 8 | 附録（注意事項）

## 1. 第2四半期 決算概要

前年同期より増収増益。売上高は+5.9%増収。営業利益は、増収効果による売上総利益+81百万円により、体制強化等による販売管理費増を挽回し+19.0%増益。営業外費用として上場関連費用14百万円を計上するも、営業利益増により、経常利益は+9.2%増益。四半期純利益は適用法人税率変更等により+2.1%増益となる。

【単位:百万円、%】 ( )内は売上高比

	23年6月期 第2四半期 実績		24年6月期 第2四半期 実績		前期差	前期 増減比	通期予想 進捗率 (当初比)	通期予想 進捗率 (修正比)
売上高		1,625		1,721	+95	+5.9%	43.0%	47.8%
営業利益	(8.8%)	143	(9.9%)	170	+27	+19.0%	27.5%	47.2%
経常利益	(8.8%)	142	(9.0%)	155	+13	+9.2%	27.0%	45.2%
四半期 純利益	(6.9%)	111	(6.6%)	113	+2	+2.1%	27.5%	46.9%



## 2.セグメント別売上高（前年同期比）

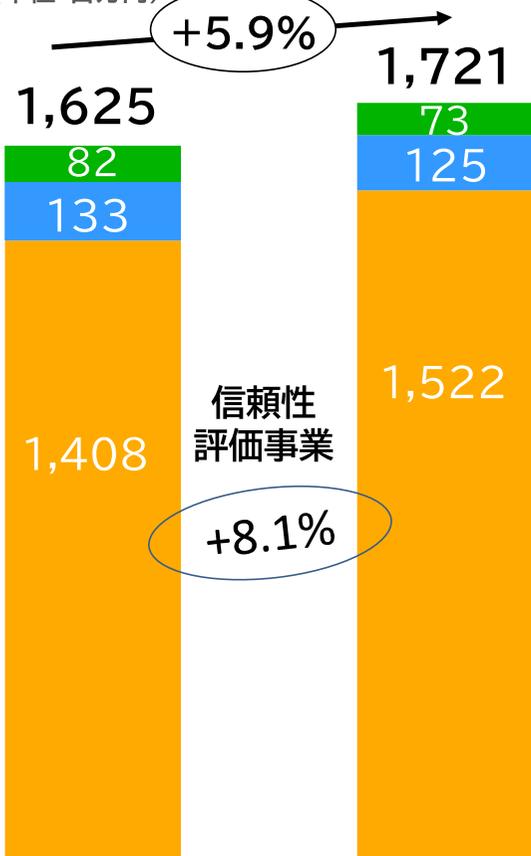
全社売上高は、前年同期比+5.9%の増収。

信頼性評価事業は、パワーサイクル試験が開発機種の端境期となり減収も、高付加価値試験、断面研磨の受注拡大が牽引し、全体で+8.1%の増収。

微細加工事業は、前年4Qを底に既存顧客の量産受注が回復基調も、本格的な回復に至らず△6.2%の減収。

その他事業は、バイオ遺伝子検査需要の減衰、競合企業参入による価格競争激化により受注が減少し、△11.4%の減収。

(単位:百万円)



セグメント	増減率	コメント
信頼性評価	+8.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高付加価値試験、断面研磨の拡大が牽引。</li> <li>■ パワーサイクル試験が端境期で減収。</li> </ul>
微細加工	△6.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前年4Qを底に既存顧客の量産受注が回復基調も本格的な回復に至らず減収。</li> </ul>
その他	△11.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ バイオ遺伝子検査需要の減衰、競合企業参入による価格競争激化により、受注が減少。</li> </ul>

23/6期2Q実績

24/6期2Q実績



### 3. 営業利益増減内容（前年同期比）

全社営業利益は、前年同期比+27百万円(+19.0%)の増益。

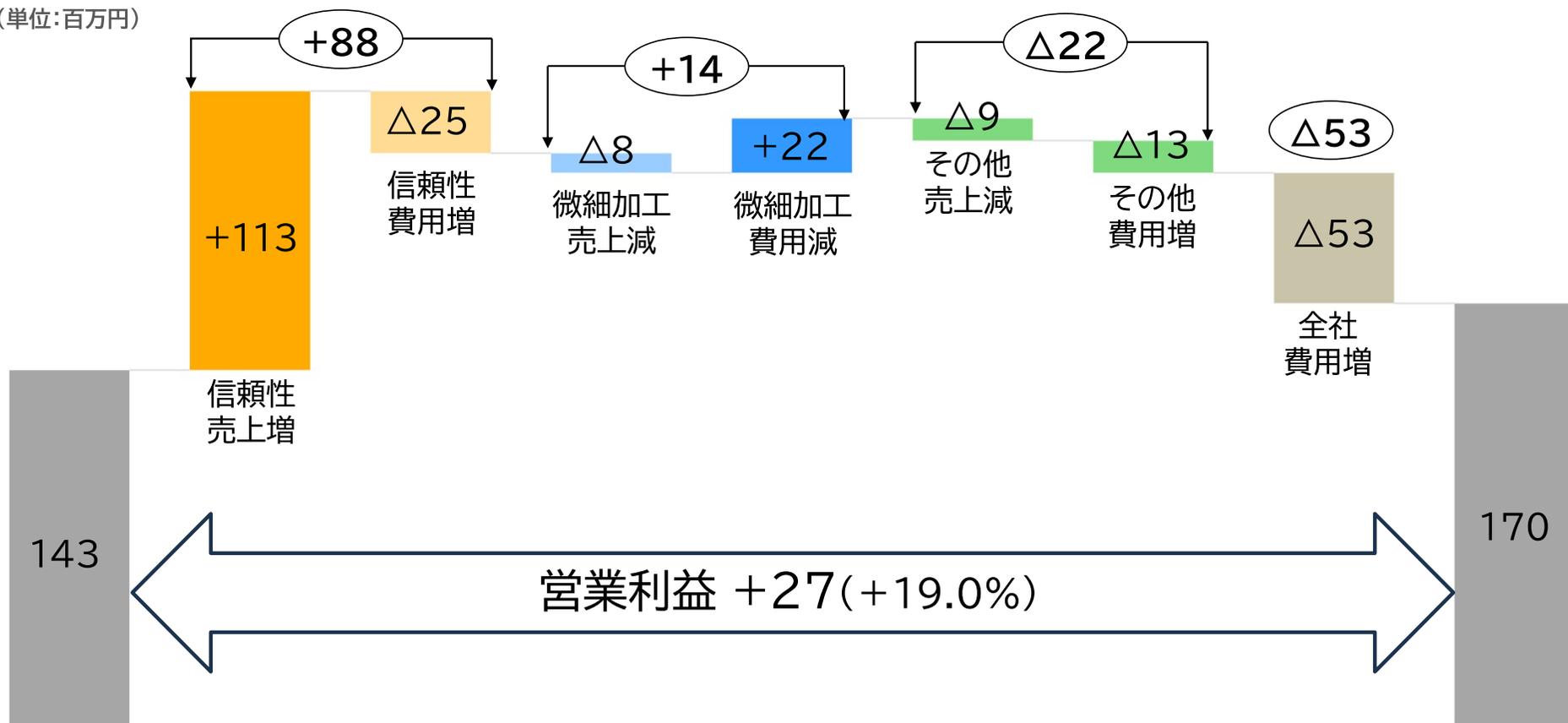
信頼性評価事業は、増収効果により増販体制強化に向けた人件費、設備償却費増等あるも+88百万円の増益。

微細加工事業は、減収となるも設備償却費減少や費用削減により+14百万円の増益。

その他事業は、バイオ、表面処理体制強化による費用増を実施したが、バイオ減収により△22百万円の減益。

全社共通部門は、体制強化等による費用増で△53百万円の減益。

(単位:百万円)

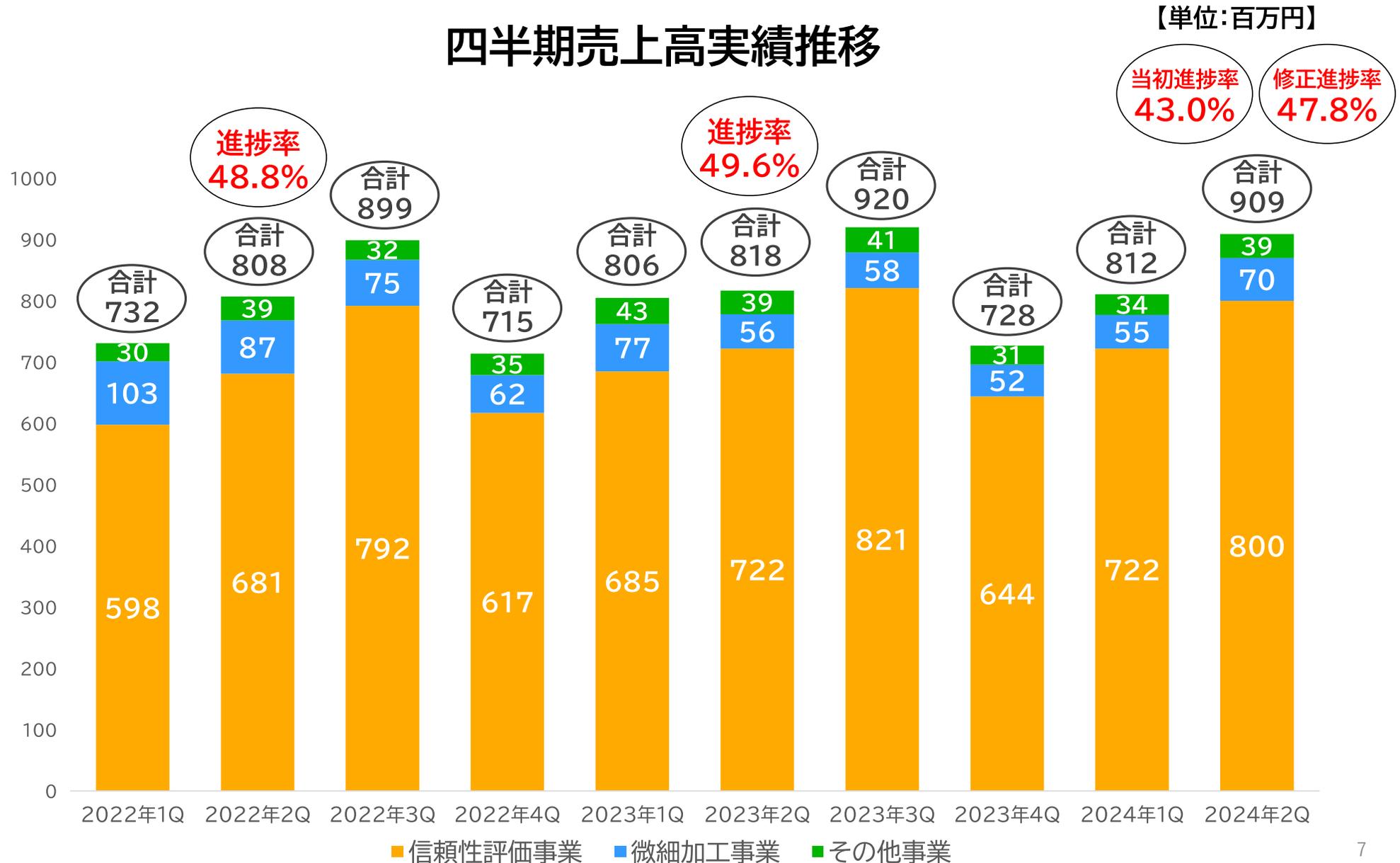


23/6期  
2Q実績

24/6期  
2Q実績

## 4. 四半期売上高推移（セグメント別）

例年と比較し、第2四半期売上高の当初業績予想進捗率は43.0%と低調。修正業績予想進捗率では47.8%。





## 5.その他経営数値（対1Q末）

その他経営数値の状況は以下のとおり。  
Patentix社への5千万円出資等あるも、1Qからの大きな変動は無し。

【単位:百万円、%】（ ）内は売上高比

	24年6月期 1Q実績		24年6月期 2Q実績		1Q差
総資産		3,757		3,888	+131
純資産		2,914		3,000	+85
自己資本比率		77.6%		77.2%	△0.4%
現預金残高		1,783		1,796	+13
設備投資		53		137	—
研究開発費	(2.5%)	20	(2.5%)	42	—
在籍人員(人)		224		231	+7

※設備投資及び研究開発費について、1Q差は不表示。

## 6-1.通期業績予想

通期業績予想は2月7日開示のとおり、当初予想から減収減益に下方修正。  
 売上高については、信頼性評価事業、微細加工事業、その他事業ともに未達要因が顕在化し、当初比△10.0%の減収。  
 営業利益以下段階利益については、減収にともなう減益を見込み、それぞれ△40%強の減益。  
 前期比では、売上高+10.0%、営業利益+18.4%、経常利益+16.5%、当期純利益+15.7%の増収増益を見込む。

【単位:百万円、%】 ( )内は売上高比

	23年6月期 実績		24年6月期 通期業績予想 当初(8/10)		24年6月期 通期業績予想 今回(2/7)		当初差	当初 増減比	前期差	前期 増減比
売上高		3,274		3,999		3,600	△399	△10.0%	+326	+10.0%
営業利益	(9.3%)	304	(15.5%)	619	(10.0%)	360	△259	△41.8%	+55	+18.4%
経常利益	(9.0%)	295	(14.4%)	576	(9.6%)	344	△232	△40.3%	+48	+16.5%
当期 純利益	(6.4%)	210	(10.4%)	414	(6.8%)	243	△170	△41.2%	+33	+15.7%

## 6-2.通期業績予想 セグメント別売上高（当初予想比）

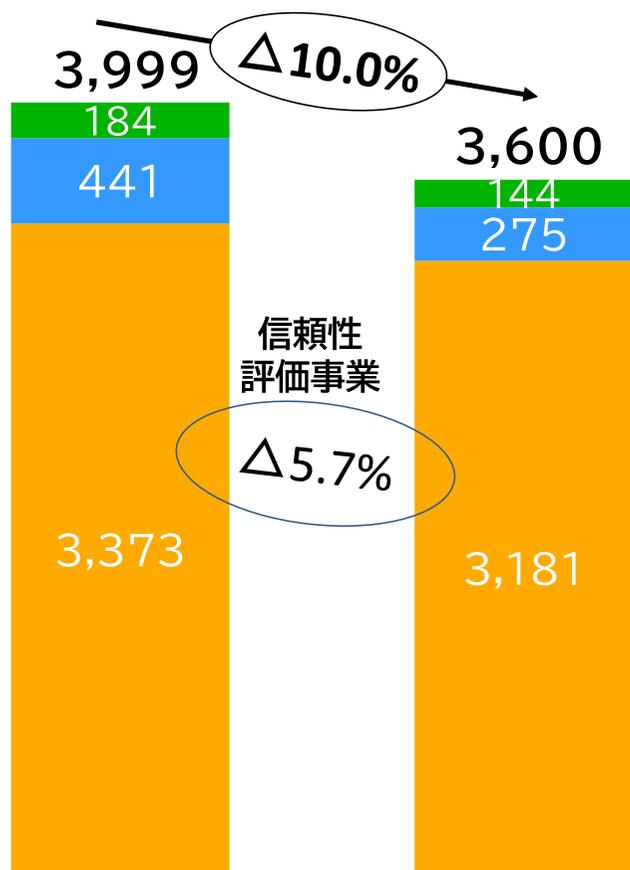
全社売上高は、当初予想比 $\Delta 10.0\%$ の減収を見込む。

信頼性評価事業は、パワーサイクル試験が開発機種の端境期となり減収。高付加価値試験、断面研磨は好調を維持するものの、市場での先行き不透明感が顕在化し、当初の伸びが見込めないとの判断で $\Delta 5.7\%$ の減収。

微細加工事業は、試作受注の顧客スケジュール遅延に加え、量産受注が本格的な回復に至らず $\Delta 37.7\%$ の減収。

その他事業は、バイオ遺伝子検査需要の減衰、競合企業の参入による価格競争激化により、当期中の受注回復が見込めないとの判断で $\Delta 21.9\%$ の減収。

(百万円)



セグメント	増減率	コメント
信頼性評価	$\Delta 5.7\%$	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高付加価値試験、断面研磨は好調を維持するものの、市場の先行き不透明感が顕在化。</li> <li>■ パワーサイクル試験が端境期で減収。</li> </ul>
微細加工	$\Delta 37.7\%$	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 試作加工の顧客スケジュールが遅延。</li> <li>■ 前年4Qを底に既存顧客の量産受注が回復基調も本格的な回復に至らず減収。</li> </ul>
その他	$\Delta 21.9\%$	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ バイオ遺伝子検査需要の減衰、競合企業参入による価格競争激化により、当期中の受注回復が見込めず減収。</li> </ul>

24/6期当初予想

24/6期今回予想



## 6-3.通期業績予想 営業利益増減内容（当初予想比）

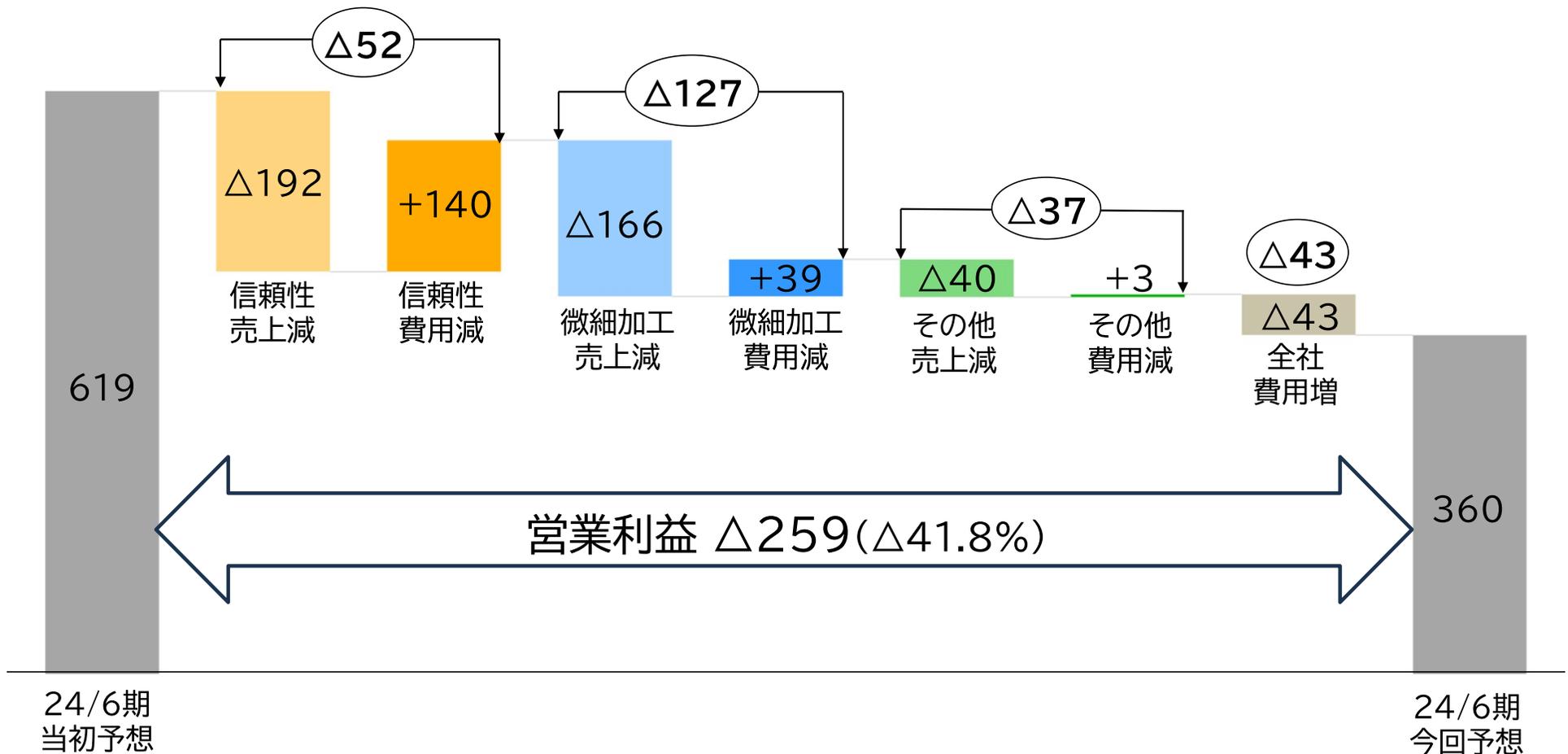
全社営業利益は、当初予想比 $\Delta 259$ 百万円( $\Delta 41.8\%$ )の減益を見込む。

信頼性評価事業は、減収影響を費用削減で挽回できず $\Delta 52$ 百万円の減益。

微細加工事業は、減収影響に対し費用削減効果が少なく $\Delta 127$ 百万円の減益。

その他事業は、バイオ減収影響に対し費用削減効果が少なく $\Delta 37$ 百万円の減益。

全社共通部門は、車載顧客要請によるセキュリティ強化の前倒し対応等で $\Delta 43$ 百万円の減益。





## 6-4.通期業績予想 セグメント別売上高（前年比）

全社売上高は、前年比+10.0%の増収を見込む。

信頼性評価事業は、パワーサイクル試験の下期需要回復により全試験で増収。全体で+10.7%の増収。

微細加工事業は、量産受注が本格的な回復に至らずも、昨年の底を脱し+12.4%の増収。

その他事業は、バイオ遺伝子検査需要の減衰、競合企業の参入による価格競争激化により△7.3%の減収。

(百万円)



セグメント	増減率	コメント
信頼性評価	+10.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 信頼性試験:14.5%増収。</li> <li>■ 断面研磨:6.7%増収。</li> <li>■ パワーサイクル試験:8.2%増収。</li> </ul>
微細加工	+12.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 量産受注が本格的な回復に至らずも、昨年の底を脱し増収。</li> </ul>
その他	△7.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ バイオ遺伝子検査需要の減衰、競合企業参入による価格競争激化により減収。</li> </ul>

## 6-5.通期業績予想 営業利益増減内容（前年比）

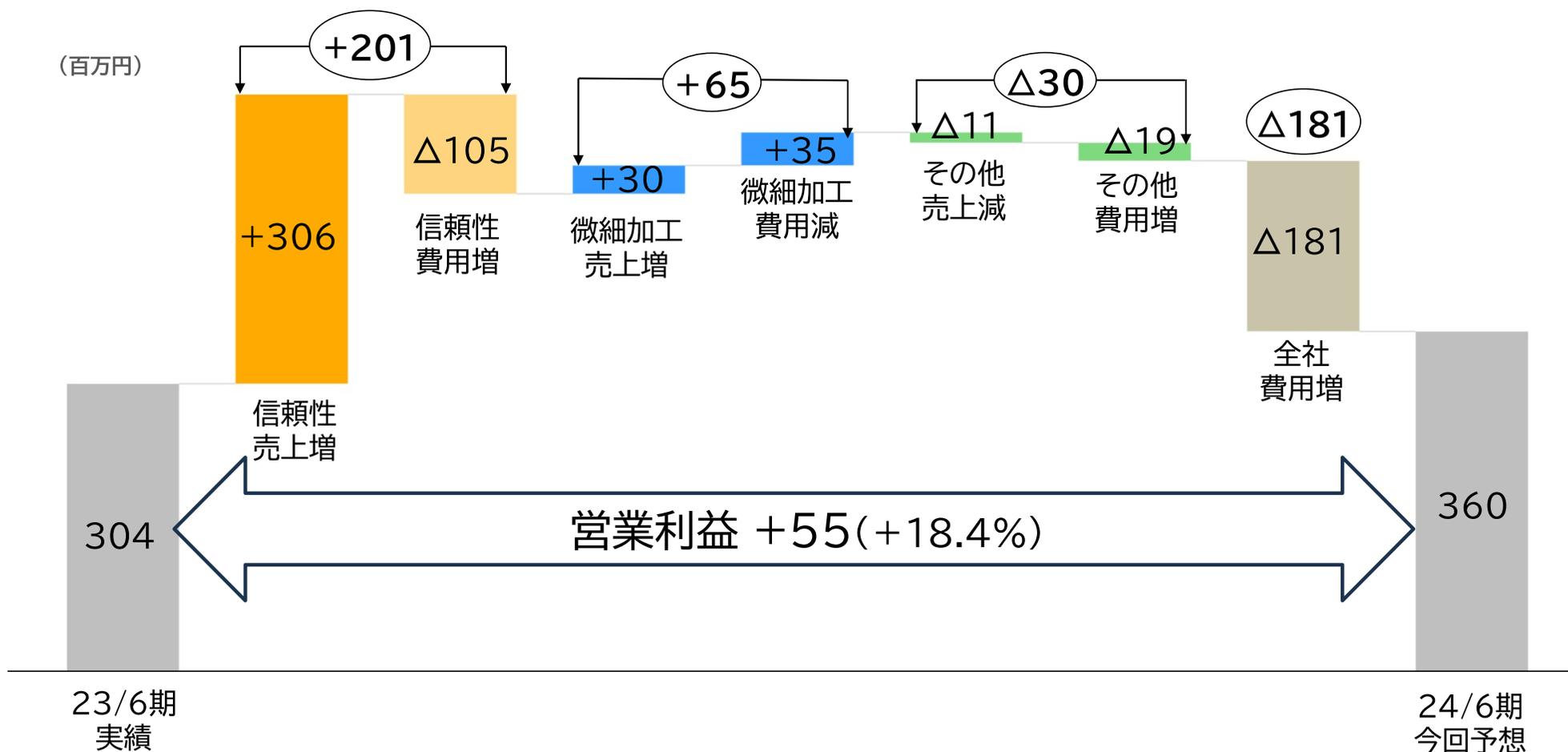
全社営業利益は、前年比+55百万円(+18.4%)の増益を見込む。

信頼性評価事業は、増収効果により増販体制強化に向けた人件費、設備償却費増等あるも+201百万円の増益。

微細加工事業は、増収効果に加え設備償却費減少や費用削減により+65百万円の増益。

その他事業は、バイオ、表面処理体制強化による費用増を実施したが、バイオ売上減により△30百万円の減益。

全社共通部門は、体制強化等による費用増で△181百万円の減益。





## 7. 配当予想

事業成長に向けた投資余力の確保と安定的な株主還元の両立を基本ポリシーとして継続。  
24年6月期の配当予想については、昨年8/10公表値を据え置き。

	23年6月期実績	24年6月期予想	前期差
当期純利益	210百万円	243百万円	+33百万円
1株当たり配当金	37.00円	※ 42.00円	+5.00円
発行済み株式数	2,100,000	2,350,000	+250,000
配当金総額	77,700千円	98,700千円	+21,000千円
配当性向	37.0%	40.6%	+3.6%

※普通配当37円00銭、記念配当5円00銭



## 8. 附録（注意事項）

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。

これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。

assists your "thinking"

Qualtec

